

第 36 回 夕張川流域会議 議事要旨

日時：平成 30 年 10 月 25 日（水）13：30～16：30

現地視察場所：夕張川栗沢頭首工魚道、ハサンベツ川

意見交換場所：雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウス



<主な意見>

<今年度魚類調査の結果について>

- ・今年、サケの産卵床を約 30 床確認したが、砂泥が溜まるため孵化浮上ができるか心配だ。
- ・サクラマスは、6 月の増水で落差工を越え雨煙別学校まで上がって産卵した。サケは、9 月中～下旬に栗沢頭首工下で確認できた。10 月は増水で確認ができなかった。
- ・長栗大橋下流の産卵床は礫状態も良くて孵化できそうだ。
- ・河底が硬く固まっているので孵化しても浮上出来ない可能性がある。雨煙別川で放流しているサケは健全に育っていないかもしれない。
- ・栗沢頭首工の魚道は、水量が少ないと右岸側に集まり魚道側へ近寄らない。栗沢頭首工のゲートの調整を来年試験的にできないか。
- ・水位が低いと魚道に入る水も減り魚を誘因できない。逆に水位が高いと産卵ができない等、別の問題もあり難しい。
- ・魚道に流木が溜まっている場合は撤去する等の対応をしてほしい。
- ・清幌床止めは、砂州が固定化され流れが早くなり産卵環境ができない。砂州を除去し水を分散すれば、産卵環境ができる。

- ・栗沢頭首工下流だけでなく、川体験や川の学習を行っているフィールドも河床低下や土砂堆積が進んでいる。
- ・河川事務所の協力で川活動場所を整備してもらっているが、川づくりを根本的に考えないと、河床低下、樹林化が進むのではないか。
- ・天候によるダムの長期放流が魚類に及ぼす影響などはわからない。水位高による魚類への影響が長期的に恒常的に起こるものかどうかを把握することが大切。
- ・遡上数や産卵床のデータが蓄積されてきた。魚道効果は確認できたのでそれらの魚類が定着できるかを考える段階だ。今後は具体的対策についての議論、知見收拾が必要。
- ・国も河川協力団体をつくり地域と河川事務所が協力して川の管理をしようと努めている。栗沢頭首工下流にショウドウツバメが営巣できる素晴らしい環境がある。
- ・河川巡視にはできない河川協力団体の活動を開発局が支援するという取り組みは良いと思う。川に対する意識を地域にもってもらおうということが大切だと考える。
- ・水位とサケの産卵の関係は、すぐには解決できないので、流域会議で知見を集積しつつ試験や調査をする形になれば良い。

<清幌床止めの樹林化について>

- ・川の負担を和らげるために部分的に状況に対応した川を造って行くこと。清幌床止めの樹林化を放置するとますます河床低下が進むだけ。
- ・清幌床止めには大量のゴミが溜まっているので、夕張川上流の人とともに河川清掃をしていきたい。
- ・清幌床止めで産卵するマルタウグイを救うには、中洲を開放して水が分散するようにする。水位が下がれば、ある程度解消できるので是非検討していただきたい。

<かわまちづくりについて>

- ・雨煙別川を北海道がかわまちづくり事業で整備している。国の管理区間もあるのでサケの産卵も含め環境や景観で一体的に話ができれば良い。
- ・流域会議でかわまちづくり事業の議論をする、かわまちづくり協議会と一体化する等、

いろいろ方法がある。何ができるか皆さんとオーソライズしながら詰めていっても良い。

- かわまちづくり事業でどのような川づくり、フィールドづくりをするか、関係者を集めた話し合いを持ってほしい。そこで検討したことを設計に反映させたい。
- 遡上してきたサケ、サクラマスを地域住民に見せることで、川に関心をもってもらい川がきれいになるような活動をして行きたい。

第 36 回 夕張川流域会議

日 時：平成 30 年 10 月 25 日(水) 13：10～16：30

現地視察：夕張川中流域

意見交換：雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウス

次 第

1. 集 合 13：10 雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウス

※出 発 13：15

挨 拶．江別河川事務所長（移動車中）

概略説明．事務局（移動車中）

2. 現地視察 13：35～15：15

・夕張川中流域

◇栗沢頭首工魚道 13：35～14：05

◇栗山町ハサンベツ 14：15～15：15

3. 意見交換 15：30～16：30 雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウス

1) 事務局より（今年度の魚類調査結果等）

2) 意見交換

3) その他

4. 閉 会 16：30

「第36回夕張川流域会議」 委員出席者名簿

| 委員御氏名 | 所 属 | 備 考 | 出 欠 |
|-------|------------------------|-----|-----|
| 妹尾 優二 | 流域生態研究所長 | | ○ |
| 野島 芳光 | 水土里ネット由仁(由仁土地改良区)理事長 | | × |
| 諸橋 淳 | おっ鳥クラブ | | ○ |
| 上野 千春 | 栗山オオムラサキの会 | | ○ |
| 高橋 慎 | 栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会実行委員長 | | ○ |
| 久保 和英 | 河川愛護団体 リバーネット21ながぬま | | × |
| 千葉 光弘 | 夕張川なんでも探検隊 | | × |
| 武岡 真吾 | 社団法人 栗山青年会議所 | | ○ |
| 杉本 伸二 | 夕張川自然再生協議会 | | ○ |
| 濱田 暁生 | ふらっと南幌 | | × |
| 小松 憲幸 | 江別市 建設部土木事務所治水課長 | | ○ |
| 尾暮 靖志 | 南幌町 都市整備課長 | | ○ |
| 柏 雅美 | 長沼町 都市整備課長 | | × |
| 柿崎 秀史 | 岩見沢市 建設部建設管理課長 | | ○ |
| 岩花 司 | 由仁町 建設水道課長 | | × |
| 片山 伸治 | 栗山町 建設課 建設総括兼課長 | | ○ |
| 熊谷 修 | 夕張市 土木水道課長 | | ○ |
| 中條 悟 | 北海道札幌建設管理部 長沼出張所長 | | ○ |
| 山田 孝治 | 夕張川ダム総合管理事務所長 | | ○ |
| 足立 文玄 | 江別河川事務所長 | | ○ |

※敬称略

委員出席者合計＝ 14名

「夕張川流域会議」規約

(名称)

第1条 本会議を、「夕張川流域会議」（以下「流域会議」という）と称する。

(目的)

第2条 流域会議は、夕張川のあるべき姿を見据え、流域における川づくりのあり方について意見交換し、今後の川づくりに生かしていくものとする。

(組織)

第3条 流域会議は座長、副座長及び委員をもって組織する。

- 2 委員は、前年度委員からの引継ぎを基本とし、江別河川事務所長が委員名簿を作成する。
- 3 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。
- 4 座長、副座長は委員の互選により選出する。
- 5 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるときには、副座長がその職務を代行する。
- 6 流域会議の意見交換や勉強会等のテーマによっては、関係する団体や講師の招へい及びオブザーバーの参加を認める。

(議事等)

第4条 流域会議は、座長が招集する。

- 2 座長は、流域会議の運営、審議を総括する。

(事務局)

第5条 流域会議の事務局は、江別河川事務所と夕張川ダム総合管理事務所管理課に置く。

- 2 事務局は、流域会議の運営に必要な事務を処理する。

(雑則)

第6条 この規約に定めるもののほか、流域会議の運営に関する必要な事項は、座長が流域会議に諮り定める。

(附則)

この規約は平成19年10月4日をもって成立適用する。

(附則)

この規約は平成23年2月17日をもって成立適用する。

(附則)

この規約は平成28年2月10日をもって成立適用する。

(附則)

この規約は平成30年7月25日をもって成立適用する。

第36回 夕張川流域会議 現地視察行程

